

アサヒペン

これは便利

ガス抜きキャップ付

耐熱性・密着性抜群

耐熱塗料

Silicone Resin Paint

耐熱温度600℃

丸吹きノズル
ツヤ消し

塗り面積(1回塗り)
1.3~1.6㎡
タタミ0.7~1.0枚分

乾燥時間
夏期/20~30分
冬期/30~50分

無鉛塗料
鉛・クロム化合物は
使用していません。

用途 ストープ・煙突・焼却炉・自動車の
マフラー等の鉄部(メッキ面を除く)

使用方法・注意書きをよく読んでから使用して下さい。 300ml



● 本品を乾かした状態では吹き付けできません。● 表示の色は実際の色と多少異なる場合があります。

商品名 耐熱塗料スプレー
成分 合成樹脂塗料
成分 合成樹脂(シリコン)、顔料、有機溶剤

使用方法

1. 塗る面のゴミ、油分、さび、カビ、ワックス等をとります。
2. 塗料がついて困る周囲は、あらかじめマスキングテープ等でおおいます。
3. 使用するときは、容器を十分に振り、よく混ぜます。
4. 塗料を吹きつけるとき、塗る面と噴出口との間は20~30cmの間隔をとります。
5. 自立しない部分で試し塗りをして色・噴射の状態・乾燥性・下地への影響・密着性をよく調べて異常がないことを確かめてから塗ります。
6. 一度に厚塗りをしないで、塗る面と平行に移動しながら、ややうすめにまんべんなく2~3回くらい塗り重ねます。
7. 使用後は、噴出口がつまらないよう容器を逆さにして2秒くらい空吹きし、噴出口をよく拭いてからキャップをします。

用具の手入れ方法 ラッカーうすめ液で洗って下さい。

危険	
<ul style="list-style-type: none"> ●引火性あり ●皮膚刺激 ●強い眼刺激 ●遺伝性疾患のおそれ ●発がんのおそれ ●臓器の障害 ●窒息やめまいのおそれ ●水生生物に毒性 	
救急処置	<ul style="list-style-type: none"> ●目に入った場合には、直ちに多量の水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けて下さい。 ●皮膚に付着した場合には、多量の水で洗い落とし、痛み又は外腫に変化があるときは、医師の診察を受けて下さい。 ●蒸気、ガス等を吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受けて下さい。

第2石油類 120ml / 危険等級Ⅲ / 火気厳禁
合成樹脂エナメル塗料(S-051, 銀はS-013)

廃棄する際のガス抜きキャップの使い方

注意事項
①必ず中身を使い切ってから行って下さい。
②火気のない屋外で行って下さい。
③塗料が飛び散っても差し支えないところで行って下さい。
④容器が倒れないよう平らな場所で行って下さい。

ガス抜きの方法
①スプレーから押しボタンを引けば抜きます。
②キャップの内側にティッシュペーパーを6~7枚詰め、セロハンテープで浮かさないように止めます。

取扱い上の注意

- ①表示の用途以外には使用しないで下さい。
- ②体調の悪いとき、アレルギー・化学物質に敏感な人は使用しないで下さい。
- ③メッキ面および本品以外の塗装面には適しません。
- ④食器など、食品に直接触れるものには塗らないで下さい。
- ⑤火気のあるところや、燃焼中のストーブなどには吹きつけしないで下さい。
- ⑥天気の良い湿度の低い日に塗って下さい。
- ⑦取扱い中は必要に応じてマスクや手袋を着用して、できるだけ皮膚に触れないようにして下さい。
- ⑧有機溶剤が含まれているので、塗装中・乾燥中ともに換気をよくして下さい。
- ⑨塗料を吹きつけるときは、人や物にかからないよう注意して下さい。
- ⑩塗り面積・乾燥時間は色・素材・塗り方・気象条件の違いにより多少異なります。
- ⑪加熱しない耐熱性等の塗膜機能は得られません。加熱中はしばらく免陸したり臭うことがありますので換気を充分にして下さい。
- ⑫やむをえず中身の塗料を捨てるときは、火気のない屋外で、新聞紙などに塗り広げ、完全に乾かしてから一般ゴミとして処分して下さい。
- ⑬容器を捨てる際には、容器下部の表示に従って中身のガスと塗料を充分に抜き、他のゴミとはきり別けて捨てて下さい。
- ⑭容器を落下させると中身が吹き出すことがありますので、取扱いに注意して下さい。

保管上の注意

- ①幼児の手の届かないところに保存し、子供が誤飲・誤食いたすらさないよう注意して下さい。
- ②中身が漏れたり破裂する危険がありますので、濡った場所などやじやすいところや、直射日光のあたるところ・自動車内・暖房器具の周辺などの温度が高くなるところには置かないで下さい。

火気と高温に注意

高圧ガスを使用した可燃性の製品であり、危険なため、下記の注意を守ること。

- ①炎や火気の近くで使用しないこと。
- ②火気を使用している室内で大量に使用しないこと。
- ③高温にすると破裂の危険があるため、直射日光の当たる所や火気等の近くなど温度が40度以上となる所に置かないこと。
- ④火の中に入れてはいけないこと。
- ⑤使い切って捨てること。

高圧ガス・DME/LPG

③ 容器を立てた状態で、キャップを逆さにし、天面の穴をステムに合わせ押し込みます。キャップが固定されるとシューという音とともにガスと塗料が抜けはじめます。2~3時間放置後、缶には油性ペンで「ガス抜き済」と表示し、キャップと分別廃棄し、ステムを押し込みます。

株式会社 アサヒペン 大阪府鶴見区鶴見4-1-12
http://www.asahipen.jp

お客様相談室
☎06-6934-0300

キャップ: プラスチック(PP)
フィルム: プラスチック(PP)
ボタン: プラスチック(PE)
管: スチール

日本製
01-1605